

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
スイカ・ひまわり	小	学級活動 6年 (図画工作)	柴田響子

<ねらい>

- ・直線・ジグザグ線・点を、クレヨンでなぞったり、塗ったりする。
- ・はさみを使って直線、曲線を切る。
- ・教師とやりとりしながら、スイカやひまわりをイメージして作る。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①画用紙に描かれたスイカとひまわりの模様を、クレヨンでなぞったり、塗ったりする。なぞる線は、クレヨンや水彩絵の具を塗った時に目立たなくなる薄い色（灰色、薄黄色など）であらかじめ描いておく。
 スイカ→表面の模様（ジグザグ線をなぞる）・たね（点を塗る）・皮（緑色を塗る）
 ひまわり→花の中心（縦線・横線をなぞる）



- ②スイカの枠線（三角、円）に沿ってはさみで切る。
 ③スイカの緑色・赤色、ひまわりの茶色を、水彩絵の具で全体に塗る。クレヨンの上に塗っても、絵の具はクレヨンをはじくことを伝え、塗り残しが無いように塗る。絵の具が乾いた後、ひまわりは教師が切り取り、両面テープを貼っておいた。
 ④ひまわりの裏面に貼ってある両面テープをはがし、花びらを放射状に貼っていく。きれいに放射状になるように、両面テープに3色ほど印をつけておき、指示された色から貼るようにする。色は対極になる部分を同じ色にしておく。



- ・2時間で仕上げるために、実際はスイカとひまわりで行程をずらして行っている。
 1時間目→スイカ① ひまわり①② 2時間目→スイカ②③ ひまわり④

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・なぞる見本をしっかりと見せることで、点→直線（縦横）→ジグザグ線と作業が変わっても上手になぞることができた。はさみで切り取る時も、切る線と切らない線の違いを見本でしっかりと見せることで、間違っただ線を切ってしまうことが無かった。
- ・縦横の交わりが捉えにくい児童には、縦と横の色を変えて線を描いておくとなぞることができた。
- ・スイカやひまわりをイメージできる児童にはそれぞれ何色で絵の具を塗るのか、やりとりをしながら取り組むことができた。
- ・ひまわりの花びらを、色を頼りに貼っていくことで、画用紙を上手に回してきれいな放射状に貼っていくことができた。
- ・スイカとひまわりの作業工程は同じだが、同時進行でなく工程をずらしたことで、どちらも2時間目で完成させ終わることができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

画用紙、クレヨン、水彩絵の具、はさみ、お花紙、両面テープ

